

プログラムの組み方が素晴らしい。

今回のように3日ともAuditoriumでやってほしい、少々参加費が高くなつてもいいから。

今回の施設は画面も良く見て昨年よりずっと良かった、参加費を5,000円ほど値上げしてもいいから、今年のようにして欲しい。

時間の配分が無理なくて良かった。

よく準備されていて、細かい点まで素晴らしい。

配付の標本が素晴らしい。

参加者もスタッフの方々もフレンドリーで素晴らしい。

Dr. Silverbergの講義は示唆に富み、updateではないが面白かった。

General Surgical Pathologyというテーマでのseminarが日本では少ないので、今回のテーマが取り上げられたことは有用でした。

お褒めのものはもっと多かったのですが、割愛しています。（参加された先生方の喜ばれる顔を見るもんですから、我々も頑張っています）



長田先生、Dr.Suranarong SrisuwanとDr.Arunluck Komindrお叱りの言葉：

ハンドアウトには長田先生の様にpowerPointの内容を入れて欲しい、後で思い出せるので。

微妙な所見についての英語表現が口語的なために、理解できなかった。

Discussion顕微鏡が期間中利用できると言い。

都内で開催がよい。

ネームカードホルダーのクリップが取れやすかった。

Coffee breakは15分位でもいいのではないか。

ピンポン台がある施設だとbetter。

金曜日～日曜日というスケジュールは辛い。土日に都内であったらしいのですが。

ガラススライドの配付でなく、デジタル画像のCDの配付が望ましい。

プログラムをもっと詰めてもいいのではないか。

Updateではない内容もあったのは少し残念。

長田先生の講義はもう少しpracticalでも良かったのではないか。

Consultation Case Hourは特定の一人の参加者がたくさん症例を出さないように制限するべきだと思う。

将来のテーマ：

As to the future courses, I welcome selected categories of relatively narrow range of organs or topics, even if they were already chosen in this seminar, SPU XXXX. For example, multiple representation of DCIS, LCIS or other lesions are favorable. Also I welcome multiple examples of EIN (endometrial intraepithelial neoplasia). I would like many examples of CIN.

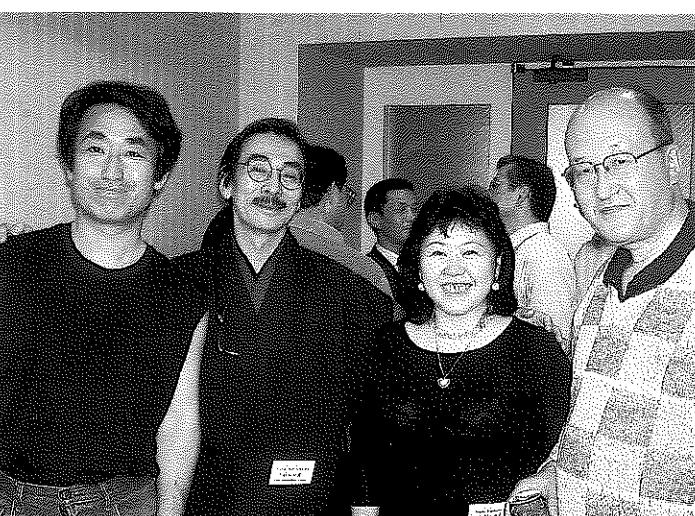
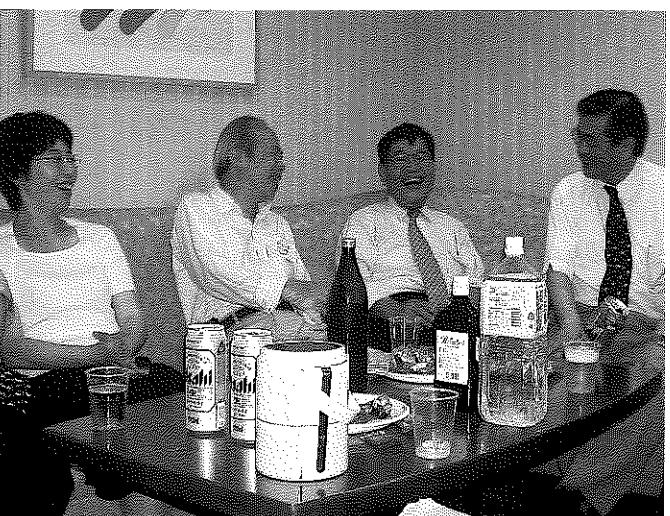
SPU2005を行うに当って、次の協賛企業に大変お世話になりました。ここに改めて御礼を申し上げます。

Mainly sponsored by

サクラファインテックジャパン（株）

Jointly sponsored by

住商エレクトロニクス株式会社、井本医科器械（株）、



株式会社キューリン、株式会社キューリンパーセル、株式会社ツムラ、エーザイ株式会社、株式会社ビーエムエル、(株)臨床病態医学研究所シーアールシーグループ、田辺製薬株式会社、帝人ファーマ株式会社、第一製薬株式会社、株式会社文光堂、三菱ウェルファーマ株式会社、大鵬薬品工業株式会社、オリンパス株式会社、塩野義製薬株式会社

なお、次回のSPU2006は5月26-28日にDr. S.G. Silverberg, Dr. Mark Wickを迎え、婦人科病理と皮膚腫瘍がテーマとなる予定です。

おめでたいことなのでお知らせしておきますが、SPUがきっかけで結婚された橘 充弘・真由美ご夫妻にかわいい赤ちゃんが誕生です。お父さんが今回もご出席だったんですが、赤ちゃんが熱を出したとかで、途中で帰宅されたんです。どうもなっかたら良かったんですが。3人で参加されることを待っています。慶應の上野先生も例年子供さんとご参加です。といえば今年は子連れの常連のマリアさんが不参加でしたね。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Steven G. Silverberg先生の表彰

5月13日（金）の夜、Dinner and Receptionの場で、Dr. Steven G. Silverbergへの日本支部からの海外表彰を行った。Silverberg先生の日本に対する貢献はくどくど述べるまでもなく、このSPUの企画、運営、人選にしても、彼なくしてはできなかった。多くの日本からの留学でもお世話になっている。特に牛込先生とはとても若いころからのお付き合いと聞いている。またキヨエさんの内助の功のお陰も忘れてはいけないことです。賞状とミキモトパールのタイピンとブローチをお渡しました。



The 94th (2005) Annual Meeting of
USCAP開催される

Alamo砦、デービトクロケットで有名なSan Antonioで開催され暖かい所ではあったが、大雨にも見舞われ、展示場でタダでの傘を手に入れていた人々は救われたようです。USCAPはいつもながら大変好評であった。今回第2回目のJapan Nightが、3月2日、学会場近くのイタリアンレストランで開かれた。日本からの参加者と在米の日本人、合計26名が参加した。中でもオレゴンの富田達雄先生は在米30年以上とか、よく活躍なさっている。愛知がんセンターの故須知泰山先生のお嬢さんの須知万理子先生も参加して下さった。今はフィラデルフィア小児病院へお勤めとか。今後もJapan Nightを続けたいと考えています。



